

8月1日(日)、「第16回一万人のエイサー踊り隊」が開催され、多くの方が訪れました。16回目となる今回は、真夏の日差しが照りつける中、約4500人が参加しました。会場となった国際通りの沿道には、地元客や観光客約9万人が訪れ、勇壮なエイサーに魅了されていました。

エイサーページェントに参加した市内小学生は、「練習は大変だけどエイサーは大好きです。今日はいつもとどおり楽しく踊ることができました」と話していました。



夏空にパーランクーの音が響き渡る

～第16回一万人のエイサー踊り隊開催～



ツルツルッ! 冷たくて美味しいね

～識名児童館「ながしそうめん会」～

8月2日(月)識名児童館で「ながしそうめん会」が開かれ、多くの子どもたちが参加しました。

子どもたちの中には、初めて流しそうめんを体験する子も多く、持参したマイカップ、マイはしを手に、今か今かと目を輝かせて、始まるのを待っていました。

夏の日差しの下、先生がそうめんを流し始めると、上手にすくっては、ひんやりと冷えた麺つゆにつけて食べ、ひと時の清涼感を味わいながら、夏休みの楽しい一日を満喫していました。

「近代沖縄の琉球漆器」

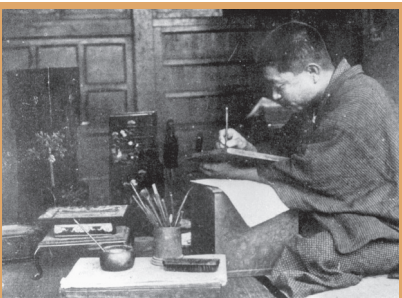
那覇市歴史博物館企画展

「貢納品から特産品へ」

鮮やかな朱漆や黒漆の表面に、沈金や箔絵、螺鈿、漆絵、堆錦といった技法で、山水楼閣や花鳥など中国的なモチーフが施された琉球漆器は、琉球王国時代、中国への貢納品や日本への献上品として無くてはならない品でした。

しかし、一八七九年の琉球処分をおかえると、琉球漆器は新たな展開をおかえることとなります。王国時代に貝摺奉行所や首里・若狭町の民間工房で行われた漆器の製造は、県外からの寄留商人や若狭町の職工を中心に行われるようになります。また、沖縄の特産品としての一翼を担うべく、漆器の産業化へ向けて県や那覇・首里を中心に、人材の育成や製造ラインおよび製品の強化、販路の開拓などに取り組み始めました。

このような時代の変化を受け、明治以降は文様・形態ともに琉球王国時代とは異なった趣向の漆器がデザインされるようになっていきます。なかでも沖縄の強い日差しを浴びることで発色される鮮やかな朱



漆器に文様を描く職工(昭和初期)

朱塗りに堆錦で、ゴーヤーと昆虫が描かれた盆。ゴーヤーは戦前から漆器にデザインされるようになった。

色に、沖縄の高温多湿な気候を生かした堆錦の技法は大量生産に向いていることもあり、他の産地では製作できない沖縄を代表する漆器として数多く生産されました。パイヤやジーヤ、芭蕉波上宮や守礼門など、沖縄の植物や風景を堆錦で描いた文様の漆器が数多く生産されました。その一方で、県の工業指導所において世界に通用する漆器を目指し、斬新な漆器のデザインの開発に取り組みました。

現代の漆器の礎を築いたとも言える近代沖縄の琉球漆器には、時代の変化の中で産業化に向けて模索し格闘する人々の思いが込められています。

■展示会 11月3日(水)まで

■ギャラリートーク

①9月25日(土)

②10月2日(土)

午後2時より開催

申込み不要、要観覧料。

【お問合せ】

那覇市歴史博物館

(パレットくもじ4階)

那覇市歴史博物館

那覇の歴史・文化を体感!

NTT docomo

聞かせて! FOMAの電波状況

お客様の「つながる」にこだわり、
原則48時間以内*に
訪問・調査を実施いたします。

お客様の「つながりにくい」という声に、しっかりと
応え続けたい。そう考えるドコモは、離島・沿岸でも、
気持ちまで伝えられる品質向上に努めています。

※movaからFOMAへの変更、FOMA新規ご契約を検討中のお客様宅の電波調査も実施します。
※訪問は平日10:00～17:30となります。(年末年始は除く)
※離島や山間部など、一部地域では、訪問までに48時間を超える場合があります。

キャンペーン
情報

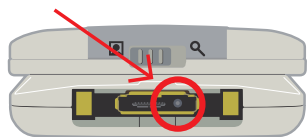
movaからお買い替えのお客様に
お得な割引実施中!

movaの見分け方!!

check
point

FOMA

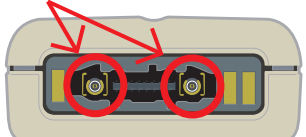
丸い部分が一つある



〈充電器差込口〉

mova

丸い部分が二つある



〈充電器差込口〉

くわしくは お近くのドコモのお店へ



イチャリバチョーデー

(スポーツを通して交流深める)

～美ら島沖縄総体2010～

高校生のスポーツの祭典「美ら島沖縄総体」は7月28日(水)、総合開会式を皮切りに、8月20日(金)までの間、29種目の競技が県内各地※登山競技は、鹿児島県で開催)で行われました。

市では、水泳・競泳・飛込、女子バレーボール、柔道、弓道、テニス、なぎなたの6競技7種目の競技大会が開催され、会場には全国から集まった各都道府県の代表選手が白熱した試合を繰り広げました。

また、総体の各会場では、地元の高校生がアナウンスや試合の記録、会場整理などの業務に携わり、大会運営を支えました。

8月1日(日)～7日(土)は、観光週間です。

その一環として8月2日(月)、市は平成22年度那覇市観光功労者表彰式を開催し、那覇市の観光振興に貢献した5個人、3団体を観光功労者として表彰しました。

受賞者を代表して比嘉幸一さんは「表彰ありがとうございます。これからも、それぞれの分野で魅力ある那覇、自分たちの誇りに思える那覇をつくっていききたい」と受賞の喜びと、今後の決意を語りました。



那覇市の観光振興に貢献

～平成22年度那覇市観光功労者表彰式～